

MSM およびゲイ・バイセクシュアル男性の HIV 抗体検査受検行動に つながる支援

研究分担者 本間隆之（山梨県立大学看護学部）

研究協力者 堅多敦子（東京都福祉保健局健康安全部エイズ・新興感染症担当課）、臼井久美子（東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課）、栗原千秋（東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課）、貞升健志（東京都健康安全研究センター）、長島真美（東京都健康安全研究センター）、清子愛弓（台東区台東保健所）生島嗣（特定非営利活動法人ぷれいす東京）、岩橋恒太（特定非営利法人 akta）、今村顕史（東京都立駒込病院）、金子典代（名古屋市立大学看護学部）、塩野徳史（名古屋市立大学看護学部）、市川誠一（人間環境大学大学院看護学研究科）

研究要旨

東京都南新宿検査・相談室の利用者アンケートの二次データ集計を実施、MSM 受検者の傾向や特徴を記述した。(研究1) 全受検者における MSM の割合は平成 19 年の 17.8%以降増加傾向にあり、平成 27 年では 27.3%と 10 ポイント近く増加している。また、人数も平成 17 年の 1,356 件から平成 27 年には 2,301 件と 1.7 倍に増加していた。初受検者の割合は、MSM 群で平成 17 年の 33%から平成 27 年の 19.9%へ減少しているが人数に変化はない。MSM においては予防のために定期的に HIV 検査を受検することが、ある程度浸透しているものと考えられる。その多くは過去に南新宿検査・相談室を利用している人であり、利便性が高い同じ施設を繰り返し利用していた。(研究2) 東京都の東地域において MSM 向けの即日の HIV 及び梅毒検査と相談の機会を実施することで、広報手段と受検及び相談のニーズを評価した。梅毒の抗体陽性数は 94 件中 13 件で、陽性割合 13.8% (95%CI: 6.9-20.8%)。梅毒の RPR 法による陽性数は 5 件で、陽性割合は 5.3% (95%CI: 0.8-9.9%) であった。RPR 法が陽性の 5 人は全員梅毒抗体も陽性であった。HIV のスクリーニング検査の結果、要確認検査が 4 件で、確認検査の結果は 4 件全てが陽性であり、内 3 名が初受検であった。HIV の陽性割合は 4.3% (95%CI: 0.2-8.3%) であった。対象とするコミュニティの文化に根ざした NGO の協力により、訴求力のある素材と媒体をもって広報コミュニケーションを行うことができた。これにより、多くの受検希望者が来場した。東京都の東地域の検査相談ニーズへの対応と情報提供は喫緊の課題であり、継続的な取り組みが必要である。

A.研究目的

厚生労働省エイズ発生動向委員会によると平成 27 年の新規 HIV 感染者報告数の 69%、同じく新規 AIDS 患者報告数の 58%が、男性同性間性的接触によると報告されている。男性と性行為を行う男性 Men who have sex with men (以下 MSM) の HIV 検査受検支援のために必要な、現状の課

題整理と支援手段の開発は急務の課題である。本分担研究では、東京都南新宿検査・相談室の利用者に対して行っている受検者アンケートの二次データ集計を行うことにより、MSM 受検者の傾向や特徴を記述することを目的とした(研究1)。また、東京都の東地域において MSM 向けの即日の HIV 及び梅毒の即日検査と相談の機会を実施す

ることで、地域性や対象特性を考慮した広報手段と受検及び相談のニーズを評価することを目的とした（研究2）。

B.研究方法

研究1

東京都南新宿検査・相談室では、受検者のうち陰性の検査結果を受けとった人に対して配布する自記式質問票調査が実施されている。このデータの提供を受けて、平成17年から平成27年までの受検者アンケートの回答を集計した。質問票が平成22年に一部修正されたが、連続性を損なわないようにカテゴリを修正して使用した。質問票のロジックに合わせて分岐質問に回答がある場合は無回答の親質問を修正するなど、データをできるだけ活かすようにデータクリーニングを行った。

「性別」を「男」と回答した人の内、「今までにセックスをしたことがある」かつセックスの対象を「同性のみ又は主に同性又は異性同性同じくらい」と回答した人をMSMと定義して、MSM群と非MSM（男性）群とを比較した。初回受検者と複数回受検者の比較を行った。

（倫理面への配慮）

研究1では既に連結不可能匿名化されたデータのみを扱うものである。山梨県立大学看護学部研究倫理審査委員会の承認を受けて実施した（承認番号1605）。

研究2

1. 検査会の実施

MSMに向けたHIV及び梅毒の即日検査相談会を平成29年1月21日（土）に実施した。検査会の会場は、東京都の東地域のMSM向け商業施設が多く集まる地域に立地しており、上野駅という大きいターミナル駅からのアクセスが良いことから台東保健所（東京都台東区東上野4-22-8）の3階および6階を利用させていただいた。新宿区内にある診療所の巡回診療所として検査相談

会を実施した。検査受付時間は17時から20時とした。

2. 会場内の受検者の流れ

受検希望者は受付の後、ガイダンスにて検査会と研究参加に関する説明を受け、研究参加に同意後、開場の案内に沿って検査を利用した。相談は17時から20時までの間、随時利用できるようにした。特に採血後の検査結果受取までの時間に相談を利用できるように促した。検査結果の受け取りは原則採血から1時間後の18時から21時とし、準備ができ次第、受検番号で呼び出しを行った。受検者を別フロアにある結果返却のための個室へ案内して、梅毒およびHIVの検査結果について説明を行った。

HIVの結果説明には、今回結果が陰性の人も陽性だった場合の説明内容を知ることができるよう、裏表にHIV陰性の場合の説明とHIV陽性の場合の説明が記載されている説明用紙を用いた。

HIVの確認検査が必要な場合は、翌22日（日）の15時から18時の間で希望時間帯の予約を行い、再度来所するように依頼した。

3. 使用した検査方法（検査試薬）

- ・HIVスクリーニング検査（即日検査）：HIV:ダイナスクリーン・HIV Combo（アリアメディカル）
- ・梅毒RPR法:RPRテスト”三光”（エーディア）
- ・梅毒IC法:ダイナスクリーン・TP Ab（アリアメディカル）
- ・HIV確認試験（すべての検査を同時に実施し、総合的に判定した）：ジェンスクリーン HIV Ag-Ab ULT（バイオ・ラッド）、バイダスアッセイキット HIV DUO II（シスメックスバイオメリュー）
- ・ラブプロット1およびラブプロット2（バイオ・ラッド）、コバス TaqMan HIV-1 「オート」 v2.0（ロシュダイアグノスティクス）

4. 検査相談会の広報

東京都の東地域、特に上野駅周辺の MSM 向け商業施設を利用している方々に広く周知を行うため、NGO の協力を得て、広報資材の開発及び広報戦略の企画立案を行った。

検査相談会の名称（愛称）の設定、デザインの一貫性、コミュニティセンターが配布している資材への記事掲載、今回の検査相談会専用の web サイト及びチラシの作成を行った。チラシは上野の MSM 向け商業施設を中心に配布し、協力を依頼した。また、MSM 向けの SNS アプリにおいて、東日本地域の利用者を対象としてバナー広告とポップアップ広告を行った。検査広報の資材は 1 人のイラストレータの制作物によるものでデザインを統一した。

広報の内容は検査会の開催日時だけを伝えるものではなく、幾つかのコンセプトに基づいて行った。すなわち、MSM に配慮していることが伝わるデザインを用いること、検査結果が陽性だった場合の生活を具体的にイメージできるような情報を伝えること、HIV 陽性者への支援の存在を伝えること、早期に治療を開始できることのメリットなどを伝えることができるようにサイトの内容やリンク先を工夫した。

5. 検査相談会の名称

NGO との協議により、HIV および梅毒が即日でわかること、予約不要であること、MSM への配慮や相談体制などあんしんをキーワードにした検査であること、上野駅からあるいは商業施設からの利便性の良い場所での開催であることなどをアピールするために「快速あんしん検査 上野駅」という名称で広報を行うことになった。

6. 検査会受検者に対する質問票調査

質問項目は、属性、検査会を知った媒体、これまでの検査受検経験、初回の人未受検だった理由、複数回受検者の過去の受検場所、今回検査を

受けたきっかけ、感染可能性の認知、当検査会を選んだ理由、性感染症の罹患経験、性行動と HIV 予防行動、HIV と梅毒に関する知識、HIV 及び性感染症の予防啓発活動の認知などを紙のアンケート用紙で訪ねた。

7. 質問票調査の分析

各項目の記述統計（性別、年齢階級別、罹患の有無別等）、関連項目のクロス集計、初受検者割合、初受検者における未受検理由、梅毒の有病割合、受検者が持っているリソースと予防に関する知識、コミュニティによる予防介入の認知、広報の認知等に関する集計を行った。

必要に応じてカイ二乗検定等を用いて割合の差の確認を行った。

（倫理面への配慮）

研究 2 では、人を対象とする医学研究に関する倫理指針を遵守するとともに、山梨県立大学看護学部研究倫理審査委員会の承認を受けて実施した（承認番号 1626）。

C. 研究結果

研究 1

1. 全受検者の動向と分析に使用したデータ

全体の受検者数は、平成 19 年のピーク以降、やや減少傾向にある。回収率は、平成 17 年を除いて 8 割を超えている。各年 7,000 件から 9,000 件の回答があり、総数は 94,249 件のデータを用いて集計を行った（表 1）。

2. MSM 受検者の動向

全受検者における MSM の割合は平成 19 年の 17.8%以降増加傾向にあり、平成 27 年では 27.3%と 10 ポイント近く増加している。また、人数も平成 17 年の 1,356 件から平成 27 年には 2,301 件と 1.7 倍に増加していた（表 4）。

3. 受検経験と MSM の動向

HIV 検査の受検が今回で初めてという人の割合は、MSM 群で平成 17 年の 33%から平成 27 年の 19.9%へ減少している。しかし、その人数は 447 件から 459 件で大きい増減はなく横ばいで推移していた。2 回目の受検者および 3 から 5 回目の受検者に大きな割合の変化はなかったが、6 回目以上の人が平成 17 年の 7.7%から平成 27 年の 22.9%と大きく増加しており、人数も 5 倍以上に伸びていた（表 5）。年齢階級別に見ると、40 歳代の人数および割合が平成 17 年の 149 件（11%）から平成 27 年の 519 件（23%）へ人数で 3.5 倍に増加していた（表 6）。

今回が初受検の人における年齢の経年推移では、30 歳代が 38.3%から 26.1%に減少し、40 歳代が 8.3%から 13.5%へ増加の傾向にあった（表 7）。

初回受検者における今回 HIV 検査を受けたきっかけは「感染する可能性がある」が各年次最も多く、次いで「情報に触れ自分のことも心配になったから」であった（表 8）。

複数回受検者の 76.4%が南新宿検査・相談室の利用者であった（表 9）。

4. 性感染症の既往

MSM において、梅毒の感染経験があると回答した人は各年次約 10%程度で、大きい変化は見られなかった。クラミジアは 11.6%から 16.8%と若干の増加傾向にあった（表 10）。

研究 2

検査会当日は受付開始から約 15 分で定員の 100 名に達し、受付を締め切った。100 人が受付を通るまでにかかなりの時間を要するため、40 番以降に整理券を配布し、1 時間後に再度来場するよう要請した。整理券を配布したが検査開場に戻らなかった人を除いた 94 名が検査会に参加した。

定員の 100 名に達した後、受付終了時間までに来場した人は、おおよそ 160 名を数えた。この

方の一部には、他の検査情報が記載してある既存のリーフレットを配布した。

1. 検査の結果

梅毒の抗体陽性数は 94 件中 13 件で、陽性割合 13.8%（95%CI: 6.9-20.8%）。梅毒の RPR 法による陽性数は 5 件で、陽性割合は 5.3%（95%CI: 0.8-9.9%）であった。RPR 法が陽性の 5 人は全員梅毒抗体も陽性であった。

HIV スクリーニング検査が陽性となり、確認検査が必要であった検体数は 4 件であった。確認検査の結果、ジェンスクリーン HIV Ag-Ab ULT（バイオ・ラッド）、バイダスアッセイキット HIV DUO II（シスメックスバイオメリュー）、コバス TaqMan® HIV-1 「オート」 v2.0（ロシュダイアグノスティクス）で、4 件全てが陽性であったが、ラブプロット 1 で 4 件中 3 件が陽性であった（ラブプロット 2 では全て判定保留）。以上の結果から、4 件全てが HIV-1 陽性と判定された。HIV の陽性割合は 4.3%（95%CI: 0.2-8.3%）であった。

2. 受診確認

HIV 陽性の 4 件のうち 1 件が梅毒抗体陽性であったが、RPR は 4 件とも陰性であった。

初日のスクリーニング結果で「HIV の確認検査が必要」という結果を受け取った 4 名全員が、予約時刻通りに翌日の結果説明に来所し、ただちに相談につながった。希望の病院を選択し、受診できるよう支援した。紹介状とともに、受検番号による匿名の受診確認を依頼したところ、1 週間以内に 4 人全員のそれぞれの受診先医療機関から、受診した旨の報告を受けた。

アンケートの結果、HIV 陽性の 4 名の内、3 名は HIV 検査の受検が今回初めてであった。また、受検経験があった 1 名は過去 1 年以内に HIV 検査を受けていた。

3. 相談の利用と相談内容

相談の利用者は 9 名であった。採血前の利用で

あった1名を除き、採血後の結果返却待ち時間に
来談していた。

相談内容は、HIVの基本的な情報や現在の性
行為やセーフセックスに関する相談とともに、
ゲイとしてどう生きるか、居場所や知り合い
のなさ、自身のセクシュアリティへの迷いなど
の話も多く聞かれた。総じて、ゲイもしくはバイセ
クシュアル男性としての生きづらさを話す人が
多く、HIV感染症に関するリアリティ（身近なも
の、自分自身に関することであるとの認識）の薄
さが感じられる相談内容であった。

医師から確認検査結果の説明を受けた後の相
談では、HIV陽性であることを周囲へ伝えるかど
うか、職場のこと、パートナーとの関係、経済的
なこと等であった。

4. 受検者アンケートの結果による検査会の評価

受検者の年齢は30歳代が39%と最も多く、20
から30歳代で67%を占めていた。居住地は東京
都が67%であり、その他は神奈川県、千葉県、埼
玉県、茨城県、群馬県、栃木県と東京を中心とし
た関東圏からの来場であった。東京都在住者にお
ける区の内訳では台東区が14%と最も多く、東京
都の東地域で約3割を占めていた。

検査会を知った媒体は「出会い系アプリの広告」
が67%と最も多く、次いで「知人からの口コミ」
が15%であった。HIV検査の受検経験は「今回が
初めて」が24%であった。今回が初受検と回答し
た人のこれまで受検しなかった理由としては、
「検査に行くきっかけがなかった」が74%と多く
を占めた。今回受検しようと思ったきっかけは全
体では「定期的に検査を受けているから」32%で
あったが、今回が初受検の人においては、「友人
知人に勧められたから」が30%と最も多かった。

今回HIV検査を受けるにあたって、この「快
速あんしん検査 上野駅」を選んだ理由では、多
くの人がHIV及び梅毒が即日であること、予約
不要であること、上野という立地であることを挙
げていた。

感染の心当たりとなる行為があつてから検査

を受けるまでの期間は、初受検者では90日未満
が計61%と、複数回受検者の39%に比べて多い傾
向にあった ($p=0.093$)。

知識に関する質問では「保健所では無料匿名で
HIV検査をやっている」の正解割合が複数回受検
者で97%であるのに対して、初回受検者で78%
と有意差があった ($p=0.009$)。

HIVや性感染症に関する予防啓発キャンペー
ンの認知は、今回の検査広報の強力を担当した
NGOの資料であるヤローページは全体の62%と
高い認知を持っていた。

D. 考察

研究1

全体の受検者数は若干減少傾向にある中で、
MSMの受検者数は10年間で1.7倍に増加し、受
検者全体に占めるMSMの割合は増加している。

そのMSMにおいては、初回受検者の人数に変
化がないにも関わらず割合が減少傾向にあるこ
とに加えて、複数回受検者、特に6回以上受検を
している人の割合が増加するとともに人数も増
えていた。MSMにおいては予防のために定期的
にHIV検査を受検していることがある程度浸透
しているものと考えられる。また、毎年500件前
後の新規受検者が利用しており、初めて検査を受
ける人における知名度や検査の選択肢として一
定のアピールがあるものと考えられる。

また、複数回受検する利用者の増加も目立っ
ていた。その多くは過去に南新宿検査・相談室を利
用している人であり、同じ施設をまた利用してい
た。これは利便性が高い検査であることを示すも
のである。

研究2

HIV陽性の4名の内、3名はHIV検査の受検
が今回初めてであった。今回の検査会の広報及び
検査相談機会の試行を行った意義は大きかった。

受検経験があった1名は過去1年以内にHIV
検査を受けていた。HIV感染の可能性をある程度

認識した上で、予防として定期的に検査を行うことを是とする結果であると考える。

受検者 94 名のアンケート結果からその効果の全容を推しはかることは困難であるが、今回の広報と実施においては一定の MSM 層にアプローチできたものとする。また、広報コミュニケーション資材を目にした多くの MSM の方に台東保健所という利便性の高い立地にある検査相談の場所を認知してもらうことができた。

今回の検査相談会の情報を得て来場いただいたにも関わらず、検査を利用できずに断らざるを得なかった来場者約 160 名においては、またとない受検行動に答えることができなかった。一部の方には別の検査機会を案内するリーフレットを配布し、受検を勧めた。強力な検査広報の効果を感じると同時に、この 260 名を超える方々にはこれまで適切な検査相談の機会が提供されてこなかったあるいは提供されてはいたが、それを利用することができていない状態にあった人を含むであろうことから、このような広報コミュニケーション手段を用いて、検査の準備状況を高めるような疾患の理解や基本的なセクシュアルヘルスに関する情報適用を、行っていく必要があるものとする。

検査相談会の運営においても、設営の準備やシミュレーション、導線確認、必要資材の不足等はなかったことは、大いに反省するところであり、今後へ向けた改善策の検討が急務と考える。た

利便性の高い、障壁の少ない、受検しやすい検査の機会を継続的に提供していく事が必要であるとする。

今回が初受検と回答した人においては「検査に行くきっかけがなかった (74%)」人たちやその周囲の人達に、出会い系アプリ等の広報によって、検査の情報が届くことによって、「友人知人に勧められ (30%)」たことが初受検のきっかけとし

て作用していたことが推察される。

今回 HIV 検査を受けるにあたって、この「快速あんしん検査 上野駅」を選んだ理由では、多くの人が HIV 及び梅毒が即日であること、予約不要であること、上野という立地であることという、広報で重視した今回の検査会のポイントが対象者に伝わり、他の検査にないメリットとして受検行動を後押ししていることが推察される。

知識に関する質問では「保健所では無料匿名で HIV 検査をやっている」の正解割合が複数回受検者で 97%であるのに対して、初回受検者で 78%と初回受検者では HIV 検査の体制について十分な情報が届いていないことがわかった ($p=0.011$)。基本的な健康支援に関わる予防情報を継続的により一層広い対象へ届けていくことが、早期検査や予防の理解につながると考える。

今回の検査の利点となる要素の一つ一つの効果を分離して検討することは困難であるが、要素を列記すると、土曜、夕方、繁華街から近い台東保健所、HIV 即日検査、梅毒即日検査、無料匿名、ゲイに理解がある印象を与えるチラシ等、様々である。これらの一つ一つあるいは複数に魅力を感じて検査を受けに来る人が増える。

対象者の価値 (観) やコストを踏まえた上で、利便性とメリットの高い健康支援を準備して、対象との十分なコミュニケーションを行うことで、本人にとって本当に必要な検査支援を行うことができると思う。今回の成果と限界を踏まえて、更に支援が必要な対象へのアプローチ方法を開発していく必要がある。

受付からガイダンスを経て採血への誘導や、相談希望者の導線、結果返却者の呼び出しと誘導などの検査会の流れと受検者への対応について、参加のスタッフに十分に説明と準備をする時間を確保し、当日の対応と役割に混乱がないように、務める必要がある。

E. 結論

研究 1

500件前後の一定数が毎年新規受検者として流入するとともに、その一部は複数回利用あるいは定期的な利用を行っているMSMの利用者がいることが確認された。MSMにおいては予防のために定期的にHIV検査を受検していることがある程度浸透してきたことに加えて、安心して何度も利用することができる利便性の高い検査と認知されているものとする。

複数回受検者はHIVや検査についてある程度知識を持っている事が考えられる。限られたリソースにおける検査相談体制の充実のためには、複数回受検者向けの利便性の高い検査相談と、初回受検者向けの手厚いサービスや相談を提供する事ができる検査に分けて検討していく事も考えられる。

研究2

対象とするコミュニティの文化に根ざしたNGOの協力により、訴求力のある素材と媒体をもって広報コミュニケーションを行うことができた。こ

れにより、多くの受検希望者が来場した。検査を受検した人の中には検査の利便性を反映し関東圏内様々な場所から訪れていた。対象者のHIV陽性割合は4.3%であり、内3名が初受検であった。東京東地域の検査相談ニーズあるいは情報提供の必要性は喫緊の課題であり、継続的な取り組みが必要であるとする。

F.健康危険情報

なし

G.研究発表

1.論文発表

なし

2.学会発表

なし

H.知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）

なし

表 1. 受検者数とアンケート回答数、回収率

	H I V 検査 受検者数 (件)	アンケート 回答数 (件)	回収率
2005 (H17) 年	11,234	7,030	62.6%
2006 (H18) 年	10,525	9,238	87.8%
2007 (H19) 年	11,530	9,506	82.4%
2008 (H20) 年	11,006	9,193	83.5%
2009 (H21) 年	10,300	8,397	81.5%
2010 (H22) 年	9,368	7,608	81.2%
2011 (H23) 年	9,827	8,492	86.4%
2012 (H24) 年	9,732	8,326	85.6%
2013 (H25) 年	10,218	8,759	85.7%
2014 (H26) 年	10,512	9,275	88.2%
2015 (H27) 年	9,662	8,425	87.2%
合計	113,914	94,249	82.7%

表 2. 性別の分布 (年次別)

	男性		女性		無回答		その他		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
H17年	4,693	(66.8%)	2,327	(33.1%)	8	(0.1%)	2	(0.0%)	7,030	(100%)
H18年	6,249	(67.6%)	2,952	(32.0%)	36	(0.4%)	1	(0.0%)	9,238	(100%)
H19年	6,100	(64.2%)	3,363	(35.4%)	40	(0.4%)	3	(0.0%)	9,506	(100%)
H20年	5,732	(62.4%)	3,410	(37.1%)	43	(0.5%)	8	(0.1%)	9,193	(100%)
H21年	5,436	(64.7%)	2,939	(35.0%)	21	(0.3%)	1	(0.0%)	8,397	(100%)
H22年	5,030	(66.1%)	2,569	(33.8%)	7	(0.1%)	2	(0.0%)	7,608	(100%)
H23年	5,664	(66.7%)	2,825	(33.3%)	2	(0.0%)	1	(0.0%)	8,492	(100%)
H24年	5,750	(69.1%)	2,568	(30.8%)	2	(0.0%)	6	(0.1%)	8,326	(100%)
H25年	6,161	(70.3%)	2,590	(29.6%)	4	(0.0%)	4	(0.0%)	8,759	(100%)
H26年	6,563	(70.8%)	2,695	(29.1%)	11	(0.1%)	6	(0.1%)	9,275	(100%)
H27年	5,904	(70.1%)	2,499	(29.7%)	11	(0.1%)	11	(0.1%)	8,425	(100%)
合計	63,282	(67.1%)	30,737	(32.6%)	185	(0.2%)	45	(0.0%)	94,249	(100%)

表 3. これまでにセックス経験があると回答した男性におけるセックスの対象（年次別）

	同性のみ		主に同性		異性同性同じくらい		小計；MSM		異性のみ		主に異性		その他、無回答	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
H17年	882	(20.6%)	357	(8.3%)	117	(2.7%)	1,356	(31.7%)	2,780	(64.9%)	118	(3%)	29	(1%)
H18年	1,224	(22.8%)	435	(8.1%)	138	(2.6%)	1,797	(33.4%)	3,434	(63.8%)	110	(2%)	38	(1%)
H19年	1,147	(21.3%)	429	(8.0%)	118	(2.2%)	1,694	(31.4%)	3,543	(65.8%)	123	(2%)	27	(1%)
H20年	1,196	(23.6%)	439	(8.7%)	113	(2.2%)	1,748	(34.5%)	3,177	(62.7%)	96	(2%)	42	(1%)
H21年	1,151	(24.1%)	442	(9.3%)	122	(2.6%)	1,715	(36.0%)	2,920	(61.2%)	109	(2%)	24	(1%)
H22年	1,102	(25.0%)	433	(9.8%)	114	(2.6%)	1,649	(37.3%)	2,635	(59.7%)	100	(2%)	32	(1%)
H23年	1,196	(23.7%)	511	(10.1%)	140	(2.8%)	1,847	(36.5%)	3,019	(59.7%)	123	(2%)	66	(1%)
H24年	1,359	(25.8%)	529	(10.1%)	129	(2.5%)	2,017	(38.4%)	3,033	(57.7%)	139	(3%)	69	(1%)
H25年	1,502	(26.7%)	580	(10.3%)	146	(2.6%)	2,228	(39.7%)	3,155	(56.2%)	155	(3%)	78	(1%)
H26年	1,547	(26.5%)	647	(11.1%)	149	(2.5%)	2,343	(40.1%)	3,267	(55.9%)	163	(3%)	74	(1%)
H27年	1,557	(30.1%)	601	(11.6%)	143	(2.8%)	2,301	(44.4%)	2,664	(51.4%)	131	(3%)	83	(2%)
合計	13,863	(24.6%)	5,403	(9.6%)	1,429	(2.5%)	20,695	(36.8%)	33,627	(59.8%)	1,367	(2%)	562	(1%)

* MSMは男性かつセックス経験ありかつセックスの相手が「同性のみまたは主に同性または異性同性同じくらい」

表 4. 全受検者におけるMSM割合（年次別）

	MSM		非MSM（男性）		女性及びその他	
	n	%	n	%	n	%
H17年	1,356	(19.3%)	3,337	(47.5%)	2,337	(33.2%)
H18年	1,797	(19.5%)	4,452	(48.2%)	2,989	(32.4%)
H19年	1,694	(17.8%)	4,406	(46.3%)	3,406	(35.8%)
H20年	1,748	(19.0%)	3,984	(43.3%)	3,461	(37.6%)
H21年	1,715	(20.4%)	3,721	(44.3%)	2,961	(35.3%)
H22年	1,649	(21.7%)	3,381	(44.4%)	2,578	(33.9%)
H23年	1,847	(21.7%)	3,817	(44.9%)	2,828	(33.3%)
H24年	2,017	(24.2%)	3,733	(44.8%)	2,576	(30.9%)
H25年	2,228	(25.4%)	3,933	(44.9%)	2,598	(29.7%)
H26年	2,343	(25.3%)	4,220	(45.5%)	2,712	(29.2%)
H27年	2,301	(27.3%)	3,603	(42.8%)	2,521	(29.9%)
合計	20,695	(22.0%)	42,587	(45.2%)	30,967	(32.9%)

表 5. MSMと非MSM男性における受検経験（年次別）

	今回が初めて		2回目		3-5回目		6回目以上		無回答	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
MSM										
H17年	447	(33.0%)	323	(23.8%)	420	(31.0%)	105	(7.7%)	61	(4.5%)
H18年	600	(33.4%)	445	(24.8%)	554	(30.8%)	142	(7.9%)	56	(3.1%)
H19年	527	(31.1%)	394	(23.3%)	535	(31.6%)	170	(10.0%)	68	(4.0%)
H20年	473	(27.1%)	372	(21.3%)	598	(34.2%)	237	(13.6%)	68	(3.9%)
H21年	439	(25.6%)	351	(20.5%)	542	(31.6%)	319	(18.6%)	64	(3.7%)
H22年	396	(24.0%)	305	(18.5%)	547	(33.2%)	325	(19.7%)	76	(4.6%)
H23年	476	(25.8%)	335	(18.1%)	591	(32.0%)	348	(18.8%)	97	(5.3%)
H24年	475	(23.5%)	377	(18.7%)	660	(32.7%)	381	(18.9%)	124	(6.1%)
H25年	509	(22.8%)	445	(20.0%)	712	(32.0%)	443	(19.9%)	119	(5.3%)
H26年	508	(21.7%)	454	(19.4%)	741	(31.6%)	500	(21.3%)	140	(6.0%)
H27年	459	(19.9%)	388	(16.9%)	747	(32.5%)	528	(22.9%)	179	(7.8%)
非MSM（男性）										
H17年	1865	(55.9%)	801	(24.0%)	525	(15.7%)	49	(1.5%)	97	(2.9%)
H18年	2552	(57.3%)	1040	(23.4%)	693	(15.6%)	80	(1.8%)	87	(2.0%)
H19年	2661	(60.4%)	938	(21.3%)	615	(14.0%)	74	(1.7%)	118	(2.7%)
H20年	2380	(59.7%)	856	(21.5%)	574	(14.4%)	79	(2.0%)	95	(2.4%)
H21年	2173	(58.4%)	777	(20.9%)	591	(15.9%)	74	(2.0%)	106	(2.8%)
H22年	1890	(55.9%)	751	(22.2%)	529	(15.6%)	90	(2.7%)	121	(3.6%)
H23年	2187	(57.3%)	853	(22.3%)	547	(14.3%)	75	(2.0%)	155	(4.1%)
H24年	2013	(53.9%)	873	(23.4%)	584	(15.6%)	96	(2.6%)	167	(4.5%)
H25年	2074	(52.7%)	883	(22.5%)	693	(17.6%)	125	(3.2%)	158	(4.0%)
H26年	2256	(53.5%)	963	(22.8%)	684	(16.2%)	118	(2.8%)	199	(4.7%)
H27年	1676	(46.5%)	900	(25.0%)	704	(19.5%)	140	(3.9%)	183	(5.1%)

表 6. 年齡階級 (MSM別、年次別)

	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上		無回答	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
MSM														
H17年	36	(2.7%)	518	(38.2%)	588	(43.4%)	149	(11.0%)	48	(3.5%)	11	(0.8%)	6	(0.4%)
H18年	52	(2.9%)	656	(36.5%)	770	(42.8%)	212	(11.8%)	69	(3.8%)	25	(1.4%)	13	(0.7%)
H19年	29	(1.7%)	608	(35.9%)	742	(43.8%)	221	(13.0%)	61	(3.6%)	26	(1.5%)	7	(0.4%)
H20年	29	(1.7%)	609	(34.8%)	756	(43.2%)	246	(14.1%)	83	(4.7%)	20	(1.1%)	5	(0.3%)
H21年	33	(1.9%)	580	(33.8%)	700	(40.8%)	302	(17.6%)	65	(3.8%)	29	(1.7%)	6	(0.3%)
H22年	37	(2.2%)	552	(33.5%)	682	(41.4%)	276	(16.7%)	70	(4.2%)	23	(1.4%)	9	(0.5%)
H23年	35	(1.9%)	669	(36.2%)	694	(37.6%)	324	(17.5%)	82	(4.4%)	28	(1.5%)	15	(0.8%)
H24年	43	(2.1%)	675	(33.5%)	732	(36.3%)	414	(20.5%)	96	(4.8%)	42	(2.1%)	15	(0.7%)
H25年	42	(1.9%)	781	(35.1%)	816	(36.6%)	414	(18.6%)	112	(5.0%)	50	(2.2%)	13	(0.6%)
H26年	47	(2.0%)	779	(33.2%)	832	(35.5%)	499	(21.3%)	119	(5.1%)	52	(2.2%)	15	(0.6%)
H27年	42	(1.8%)	783	(34.0%)	776	(33.7%)	519	(22.6%)	129	(5.6%)	37	(1.6%)	15	(0.7%)
非MSM (男性)														
H17年	62	(1.9%)	1,271	(38.1%)	1,235	(37.0%)	472	(14.1%)	192	(5.8%)	80	(2.4%)	25	(0.7%)
H18年	84	(1.9%)	1,633	(36.7%)	1,725	(38.7%)	639	(14.4%)	236	(5.3%)	106	(2.4%)	29	(0.7%)
H19年	69	(1.6%)	1,588	(36.0%)	1,708	(38.8%)	664	(15.1%)	252	(5.7%)	99	(2.2%)	26	(0.6%)
H20年	63	(1.6%)	1,489	(37.4%)	1,521	(38.2%)	616	(15.5%)	195	(4.9%)	79	(2.0%)	21	(0.5%)
H21年	45	(1.2%)	1,334	(35.9%)	1,447	(38.9%)	566	(15.2%)	204	(5.5%)	107	(2.9%)	18	(0.5%)
H22年	52	(1.5%)	1,158	(34.3%)	1,295	(38.3%)	579	(17.1%)	190	(5.6%)	88	(2.6%)	19	(0.6%)
H23年	46	(1.2%)	1,367	(35.8%)	1,476	(38.7%)	597	(15.6%)	203	(5.3%)	93	(2.4%)	35	(0.9%)
H24年	34	(0.9%)	1,356	(36.3%)	1,357	(36.4%)	643	(17.2%)	209	(5.6%)	95	(2.5%)	39	(1.0%)
H25年	65	(1.7%)	1,352	(34.4%)	1,435	(36.5%)	679	(17.3%)	258	(6.6%)	118	(3.0%)	26	(0.7%)
H26年	53	(1.3%)	1,420	(33.6%)	1,455	(34.5%)	822	(19.5%)	306	(7.3%)	136	(3.2%)	28	(0.7%)
H27年	46	(1.3%)	1,217	(33.8%)	1,222	(33.9%)	726	(20.1%)	276	(7.7%)	102	(2.8%)	14	(0.4%)

表 7. 今回が初受検の人における年齢階級（MSM別、年次別）

	10歳代		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上		無回答	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
MSM														
H17年	21	(4.7%)	198	(44.3%)	171	(38.3%)	37	(8.3%)	14	(3.1%)	4	(0.9%)	2	(0.4%)
H18年	31	(5.2%)	269	(44.8%)	206	(34.3%)	58	(9.7%)	22	(3.7%)	12	(2.0%)	2	(0.3%)
H19年	20	(3.8%)	244	(46.3%)	188	(35.7%)	48	(9.1%)	15	(2.8%)	11	(2.1%)	1	(0.2%)
H20年	23	(4.9%)	195	(41.2%)	170	(35.9%)	51	(10.8%)	24	(5.1%)	8	(1.7%)	2	(0.4%)
H21年	27	(6.2%)	186	(42.4%)	146	(33.3%)	59	(13.4%)	13	(3.0%)	5	(1.1%)	3	(0.7%)
H22年	21	(5.3%)	197	(49.7%)	128	(32.3%)	29	(7.3%)	13	(3.3%)	5	(1.3%)	3	(0.8%)
H23年	24	(5.0%)	232	(48.7%)	131	(27.5%)	59	(12.4%)	20	(4.2%)	6	(1.3%)	4	(0.8%)
H24年	27	(5.7%)	219	(46.1%)	133	(28.0%)	62	(13.1%)	24	(5.1%)	8	(1.7%)	2	(0.4%)
H25年	30	(5.9%)	251	(49.3%)	133	(26.1%)	53	(10.4%)	30	(5.9%)	9	(1.8%)	3	(0.6%)
H26年	27	(5.3%)	225	(44.3%)	155	(30.5%)	67	(13.2%)	22	(4.3%)	10	(2.0%)	2	(0.4%)
H27年	22	(4.8%)	224	(48.8%)	120	(26.1%)	62	(13.5%)	23	(5.0%)	5	(1.1%)	3	(0.7%)
非MSM（男性）														
H17年	49	(2.6%)	856	(45.9%)	620	(33.2%)	206	(11.0%)	91	(4.9%)	35	(1.9%)	8	(0.4%)
H18年	65	(2.5%)	1,101	(43.1%)	925	(36.2%)	275	(10.8%)	120	(4.7%)	52	(2.0%)	14	(0.5%)
H19年	56	(2.1%)	1,125	(42.3%)	966	(36.3%)	312	(11.7%)	142	(5.3%)	47	(1.8%)	13	(0.5%)
H20年	57	(2.4%)	1,078	(45.3%)	823	(34.6%)	285	(12.0%)	87	(3.7%)	40	(1.7%)	10	(0.4%)
H21年	37	(1.7%)	955	(43.9%)	763	(35.1%)	259	(11.9%)	97	(4.5%)	54	(2.5%)	8	(0.4%)
H22年	43	(2.3%)	803	(42.5%)	665	(35.2%)	244	(12.9%)	82	(4.3%)	45	(2.4%)	8	(0.4%)
H23年	37	(1.7%)	967	(44.2%)	793	(36.3%)	251	(11.5%)	80	(3.7%)	42	(1.9%)	17	(0.8%)
H24年	26	(1.3%)	893	(44.4%)	696	(34.6%)	263	(13.1%)	72	(3.6%)	42	(2.1%)	21	(1.0%)
H25年	52	(2.5%)	883	(42.6%)	723	(34.9%)	255	(12.3%)	99	(4.8%)	51	(2.5%)	11	(0.5%)
H26年	42	(1.9%)	930	(41.2%)	758	(33.6%)	327	(14.5%)	117	(5.2%)	68	(3.0%)	14	(0.6%)
H27年	35	(2.1%)	742	(44.3%)	514	(30.7%)	253	(15.1%)	88	(5.3%)	38	(2.3%)	6	(0.4%)

表 8. 今回が初受検の人における、今回HIV検査を受けたきっかけ（MSM別、年次別）

	感染する可能性がある		情報に触れ自分のことも心配になった		体調に変化があり不安を感じた		ただ単に知りたい		恋人ができた		恋人と一緒に受けることになった		パートナーの感染がわかった		性感染症にかかった		妊娠した		結婚する		定期的に受けている		その他	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
MSM																								
H17年	257	(57.8%)	135	(30.3%)	81	(18.2%)	61	(13.7%)	71	(16.0%)	39	(8.8%)	22	(4.9%)	15	(3.4%)	0	(0.0%)	9	(2.0%)	1	(0.2%)	15	(3.4%)
H18年	315	(52.5%)	178	(29.7%)	93	(15.5%)	80	(13.3%)	88	(14.7%)	49	(8.2%)	22	(3.7%)	15	(2.5%)	0	(0.0%)	14	(2.3%)	2	(0.3%)	24	(4.0%)
H19年	249	(47.3%)	165	(31.4%)	95	(18.1%)	80	(15.2%)	76	(14.4%)	47	(8.9%)	27	(5.1%)	17	(3.2%)	1	(0.2%)	17	(3.2%)	2	(0.4%)	31	(5.9%)
H20年	264	(56.1%)	137	(29.1%)	62	(13.2%)	89	(18.9%)	68	(14.4%)	34	(7.2%)	12	(2.5%)	8	(1.7%)	2	(0.4%)	8	(1.7%)	0	(0.0%)	26	(5.5%)
H21年	206	(47.0%)	134	(30.6%)	78	(17.8%)	86	(19.6%)	63	(14.4%)	51	(11.6%)	14	(3.2%)	14	(3.2%)	0	(0.0%)	9	(2.1%)	0	(0.0%)	20	(4.6%)
H22年	217	(54.9%)	102	(25.8%)	65	(16.5%)	60	(15.2%)	55	(13.9%)	31	(7.8%)	18	(4.6%)	5	(1.3%)	3	(0.8%)	12	(3.0%)	0	(0.0%)	17	(4.3%)
H23年	248	(52.5%)	102	(21.6%)	85	(18.0%)	98	(20.8%)	65	(13.8%)	36	(7.6%)	16	(3.4%)	16	(3.4%)	1	(0.2%)	13	(2.8%)	1	(0.2%)	16	(3.4%)
H24年	240	(50.8%)	110	(23.3%)	98	(20.8%)	89	(18.9%)	56	(11.9%)	38	(8.1%)	21	(4.4%)	14	(3.0%)	0	(0.0%)	12	(2.5%)	0	(0.0%)	27	(5.7%)
H25年	272	(53.6%)	136	(26.8%)	105	(20.7%)	110	(21.7%)	69	(13.6%)	32	(6.3%)	18	(3.6%)	17	(3.4%)	0	(0.0%)	9	(1.8%)	3	(0.6%)	15	(3.0%)
H26年	277	(54.5%)	147	(28.9%)	101	(19.9%)	78	(15.4%)	53	(10.4%)	30	(5.9%)	14	(2.8%)	23	(4.5%)	0	(0.0%)	17	(3.3%)	1	(0.2%)	19	(3.7%)
H27年	245	(53.4%)	150	(32.7%)	109	(23.7%)	81	(17.6%)	47	(10.2%)	36	(7.8%)	14	(3.1%)	13	(2.8%)	0	(0.0%)	16	(3.5%)	1	(0.2%)	14	(3.1%)
非MSM（男性）																								
H17年	824	(44.3%)	539	(29.0%)	335	(18.0%)	215	(11.6%)	213	(11.5%)	146	(7.9%)	9	(0.5%)	66	(3.6%)	2	(0.1%)	141	(7.6%)	0	(0.0%)	81	(4.4%)
H18年	1,099	(43.3%)	713	(28.1%)	444	(17.5%)	386	(15.2%)	257	(10.1%)	227	(8.9%)	16	(0.6%)	82	(3.2%)	6	(0.2%)	207	(8.2%)	2	(0.1%)	97	(3.8%)
H19年	1,087	(41.0%)	769	(29.0%)	434	(16.4%)	436	(16.5%)	278	(10.5%)	211	(8.0%)	13	(0.5%)	104	(3.9%)	14	(0.5%)	214	(8.1%)	2	(0.1%)	##	(3.9%)
H20年	1,016	(42.9%)	689	(29.1%)	338	(14.3%)	407	(17.2%)	264	(11.1%)	256	(10.8%)	14	(0.6%)	61	(2.6%)	4	(0.2%)	201	(8.5%)	3	(0.1%)	72	(3.0%)
H21年	910	(42.0%)	575	(26.6%)	291	(13.4%)	378	(17.5%)	245	(11.3%)	228	(10.5%)	12	(0.6%)	62	(2.9%)	4	(0.2%)	182	(8.4%)	2	(0.1%)	89	(4.1%)
H22年	800	(42.6%)	422	(22.5%)	302	(16.1%)	305	(16.2%)	229	(12.2%)	161	(8.6%)	16	(0.9%)	68	(3.6%)	10	(0.5%)	145	(7.7%)	4	(0.2%)	65	(3.5%)
H23年	967	(44.4%)	460	(21.1%)	391	(18.0%)	366	(16.8%)	218	(10.0%)	173	(7.9%)	14	(0.6%)	68	(3.1%)	6	(0.3%)	174	(8.0%)	5	(0.2%)	71	(3.3%)
H24年	912	(45.5%)	427	(21.3%)	398	(19.9%)	372	(18.6%)	238	(11.9%)	146	(7.3%)	7	(0.3%)	63	(3.1%)	7	(0.3%)	154	(7.7%)	1	(0.0%)	61	(3.0%)
H25年	899	(43.5%)	516	(25.0%)	442	(21.4%)	296	(14.3%)	213	(10.3%)	153	(7.4%)	6	(0.3%)	69	(3.3%)	2	(0.1%)	211	(10.2%)	3	(0.1%)	58	(2.8%)
H26年	919	(40.8%)	548	(24.3%)	513	(22.8%)	364	(16.2%)	209	(9.3%)	132	(5.9%)	10	(0.4%)	64	(2.8%)	2	(0.1%)	296	(13.1%)	1	(0.0%)	70	(3.1%)
H27年	673	(40.2%)	410	(24.5%)	352	(21.0%)	284	(17.0%)	204	(12.2%)	92	(5.5%)	9	(0.5%)	54	(3.2%)	5	(0.3%)	190	(11.4%)	2	(0.1%)	52	(3.1%)

表 9. 複数回受検者における、これまでに検査を受けた施設等（MSM別、年次別）

	東京都南新宿検査・相談室		東京都23区内の保健所		東京23区以外の都内保健所		東京都外の保健所		病院・診療所		その他	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
MSM												
H17年	616	(74.6%)	84	(10.2%)	22	(2.7%)	87	(10.5%)	107	(13.0%)	38	(4.6%)
H18年	839	(75.6%)	131	(11.8%)	34	(3.1%)	92	(8.3%)	119	(10.7%)	56	(5.0%)
H19年	825	(76.7%)	124	(11.5%)	32	(3.0%)	86	(8.0%)	134	(12.5%)	66	(6.1%)
H20年	905	(76.1%)	144	(12.1%)	34	(2.9%)	112	(9.4%)	157	(13.2%)	70	(5.9%)
H21年	944	(79.0%)	145	(12.1%)	44	(3.7%)	102	(8.5%)	150	(12.6%)	63	(5.3%)
H22年	890	(76.8%)	147	(12.7%)	31	(2.7%)	114	(9.8%)	155	(13.4%)	61	(5.3%)
H23年	904	(71.8%)	175	(13.9%)	42	(3.3%)	118	(9.4%)	162	(12.9%)	78	(6.2%)
H24年	1,061	(75.4%)	200	(14.2%)	71	(5.0%)	140	(10.0%)	195	(13.9%)	70	(5.0%)
H25年	1,166	(73.8%)	220	(13.9%)	91	(5.8%)	160	(10.1%)	208	(13.2%)	91	(5.8%)
H26年	1,278	(76.5%)	232	(13.9%)	77	(4.6%)	165	(9.9%)	210	(12.6%)	105	(6.3%)
H27年	1,258	(76.4%)	237	(14.4%)	71	(4.3%)	182	(11.1%)	231	(14.0%)	86	(5.2%)
非MSM（男性）												
H17年	900	(67.8%)	148	(11.1%)	52	(3.9%)	89	(6.7%)	210	(15.8%)	59	(4.4%)
H18年	1,181	(67.3%)	192	(10.9%)	70	(4.0%)	136	(7.7%)	274	(15.6%)	68	(3.9%)
H19年	1,020	(64.5%)	183	(11.6%)	51	(3.2%)	130	(8.2%)	253	(16.0%)	93	(5.9%)
H20年	977	(66.3%)	165	(11.2%)	64	(4.3%)	115	(7.8%)	220	(14.9%)	90	(6.1%)
H21年	927	(65.4%)	161	(11.4%)	52	(3.7%)	136	(9.6%)	220	(15.5%)	82	(5.8%)
H22年	827	(61.2%)	196	(14.5%)	54	(4.0%)	136	(10.1%)	215	(15.9%)	71	(5.3%)
H23年	870	(60.7%)	183	(12.8%)	64	(4.5%)	139	(9.7%)	233	(16.2%)	82	(5.7%)
H24年	979	(64.4%)	204	(13.4%)	74	(4.9%)	166	(10.9%)	217	(14.3%)	84	(5.5%)
H25年	1,088	(65.3%)	224	(13.4%)	79	(4.7%)	143	(8.6%)	232	(13.9%)	96	(5.8%)
H26年	1,143	(65.7%)	199	(11.4%)	79	(4.5%)	164	(9.4%)	243	(14.0%)	94	(5.4%)
H27年	1,148	(66.8%)	234	(13.6%)	86	(5.0%)	177	(10.3%)	210	(12.2%)	76	(4.4%)

表 10. 性感染症の感染経験（MSM別、年次別）

	ない		梅毒		クラミジア		淋病		その他	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
MSM										
H17年	934	(71.5%)	141	(10.8%)	151	(11.6%)	91	(7.0%)	81	(6.2%)
H18年	1,272	(73.2%)	149	(8.6%)	196	(11.3%)	111	(6.4%)	108	(6.2%)
H19年	1,187	(72.0%)	128	(7.8%)	236	(14.3%)	102	(6.2%)	105	(6.4%)
H20年	1,189	(70.5%)	142	(8.4%)	254	(15.1%)	109	(6.5%)	95	(5.6%)
H21年	1,131	(68.2%)	165	(10.0%)	291	(17.6%)	97	(5.9%)	101	(6.1%)
H22年	1,078	(67.5%)	153	(9.6%)	301	(18.8%)	86	(5.4%)	90	(5.6%)
H23年	1,209	(67.7%)	191	(10.7%)	300	(16.8%)	103	(5.8%)	117	(6.6%)
H24年	1,341	(68.3%)	180	(9.2%)	365	(18.6%)	114	(5.8%)	103	(5.2%)
H25年	1,490	(68.7%)	204	(9.4%)	415	(19.1%)	139	(6.4%)	115	(5.3%)
H26年	1,549	(67.6%)	235	(10.2%)	401	(17.5%)	158	(6.9%)	116	(5.1%)
H27年	1,533	(68.0%)	265	(11.8%)	378	(16.8%)	129	(5.7%)	126	(5.6%)
非MSM（男性）										
H17年	2,622	(82.9%)	36	(1.1%)	288	(9.1%)	188	(5.9%)	116	(3.7%)
H18年	3,535	(82.9%)	59	(1.4%)	391	(9.2%)	221	(5.2%)	168	(3.9%)
H19年	3,445	(81.6%)	55	(1.3%)	455	(10.8%)	205	(4.9%)	169	(4.0%)
H20年	3,155	(82.9%)	50	(1.3%)	365	(9.6%)	216	(5.7%)	147	(3.9%)
H21年	2,934	(82.2%)	64	(1.8%)	379	(10.6%)	195	(5.5%)	121	(3.4%)
H22年	2,664	(81.9%)	46	(1.4%)	342	(10.5%)	169	(5.2%)	127	(3.9%)
H23年	3,035	(82.5%)	52	(1.4%)	402	(10.9%)	189	(5.1%)	114	(3.1%)
H24年	2,973	(82.6%)	50	(1.4%)	398	(11.1%)	182	(5.1%)	113	(3.1%)
H25年	3,055	(81.1%)	53	(1.4%)	466	(12.4%)	195	(5.2%)	133	(3.5%)
H26年	3,264	(80.3%)	55	(1.4%)	498	(12.3%)	231	(5.7%)	157	(3.9%)
H27年	2,768	(80.1%)	80	(2.3%)	419	(12.1%)	209	(6.0%)	110	(3.2%)

研究 2

表 11. 検査受検者の属性（受検回数別含む）

	受検者全体		HIV検査は今回で何回目か			
	n=94		初回	n=23	2回以上	n=71
	n	(%)	n	(%)	n	(%)
・性別						
男	93	(98.9%)	22	(95.7%)	71	(100.0%)
女	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	1	(1.1%)	1	(4.3%)	0	(0.0%)
・年齢（10歳階級）						
20歳代	26	(27.7%)	10	(43.5%)	16	(22.5%)
30歳代	37	(39.4%)	5	(21.7%)	32	(45.1%)
40歳代	24	(25.5%)	6	(26.1%)	18	(25.4%)
50歳代	7	(7.4%)	2	(8.7%)	5	(7.0%)
・居住地（都道府県）						
東京都	63	(67.0%)	18	(78.3%)	45	(63.4%)
神奈川県	9	(9.6%)	2	(8.7%)	7	(9.9%)
埼玉県	8	(8.5%)	3	(13.0%)	5	(7.0%)
千葉県	9	(9.6%)	0	(0.0%)	9	(12.7%)
その他（茨城,群馬,栃木）	5	(5.3%)	0	(0.0%)	5	(7.0%)
・居住区（都内在住者のみ）						
台東区	9	(14.3%)	3	(16.7%)	6	(13.3%)
中野区	6	(9.5%)	0	(0.0%)	6	(13.3%)
荒川区	4	(6.3%)	1	(5.6%)	3	(6.7%)
杉並区	4	(6.3%)	3	(16.7%)	1	(2.2%)
足立区	4	(6.3%)	1	(5.6%)	3	(6.7%)
練馬区	4	(6.3%)	2	(11.1%)	2	(4.4%)
江戸川区	3	(4.8%)	0	(0.0%)	3	(6.7%)
渋谷区	3	(4.8%)	0	(0.0%)	3	(6.7%)
世田谷区	3	(4.8%)	2	(11.1%)	1	(2.2%)
千代田	3	(4.8%)	0	(0.0%)	3	(6.7%)
北区	3	(4.8%)	0	(0.0%)	3	(6.7%)
江東区	2	(3.2%)	0	(0.0%)	2	(4.4%)
品川区	2	(3.2%)	2	(11.1%)	0	(0.0%)
豊島区	2	(3.2%)	1	(5.6%)	1	(2.2%)
葛飾区	1	(1.6%)	0	(0.0%)	1	(2.2%)
大田区	1	(1.6%)	0	(0.0%)	1	(2.2%)
中央区	1	(1.6%)	0	(0.0%)	1	(2.2%)
栃木県	1	(1.6%)	0	(0.0%)	1	(2.2%)
板橋区	1	(1.6%)	0	(0.0%)	1	(2.2%)
目黒区	1	(1.6%)	0	(0.0%)	1	(2.2%)
N.A.	5	(7.9%)	3	(16.7%)	2	(4.4%)
・職業						
勤務者	71	(75.5%)	16	(69.6%)	55	(77.5%)
自営業	5	(5.3%)	1	(4.3%)	4	(5.6%)
学生	6	(6.4%)	3	(13.0%)	3	(4.2%)
主婦	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
フリーター	6	(6.4%)	3	(13.0%)	3	(4.2%)
その他	5	(5.3%)	0	(0.0%)	5	(7.0%)
N.A.	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)

表 12. 検査の受検経験

	受検者全体		HIV検査は今回で何回目か			
	n=94		初回 n=23		2回以上 n=71	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)
・「快速あんしん検査 上野駅」を何で知ったか（複数回答）						
出会い系アプリの広告	62	(66.0%)	13	(56.5%)	49	(69.0%)
知人からの口コミ	14	(14.9%)	7	(30.4%)	7	(9.9%)
HIV検査相談マップ	8	(8.5%)	2	(8.7%)	6	(8.5%)
facebookやtwitter	6	(6.4%)	1	(4.3%)	5	(7.0%)
aktaのサイト	4	(4.3%)	0	(0.0%)	4	(5.6%)
ゲイバーのちらし	1	(1.1%)	1	(4.3%)	0	(0.0%)
その他	4	(4.3%)	1	(4.3%)	3	(4.2%)
・これまでにHIV検査を受けたいと思ったことがあるか						
ある	83	(88.3%)	14	(60.9%)	69	(97.2%)
ない（今回が初めて）	9	(9.6%)	9	(39.1%)	0	(0.0%)
N.A.	2	(2.1%)	0	(0.0%)	2	(2.8%)
・HIV検査は今回で何回目か						
初めて	23	(24.5%)				
2回目	20	(21.3%)				
3から5回目	33	(35.1%)				
6回目以上	18	(19.1%)				
・これまでHIV検査を受検しなかった理由（初受検者のみ）（複数回答）						
検査に行くきっかけがなかったから			17	(73.9%)		
検査できる場所を知らなかったから			4	(17.4%)		
HIVに感染していることがわかることが怖いから			4	(17.4%)		
HIVに感染している可能性がないから			3	(13.0%)		
お金がかかるから			2	(8.7%)		
あいまいなままにしておきたいから			2	(8.7%)		
感染がわかった後の生活が大変そうだから			2	(8.7%)		
HIVに感染しているのではないかと他の人から疑われ			1	(4.3%)		
ゲイ・バイセクシュアルであることを検査で話さなけ			1	(4.3%)		
周りの人も検査を受けていないから			0	(0.0%)		
HIVに感染していることがわかると、ゲイ・バイセク			0	(0.0%)		
その他			0	(0.0%)		
・前回HIV検査を受けたのはいつか（複数回受検者のみ）						
2ヶ月以内	5	(5.3%)			5	(7.0%)
1年以内	29	(30.9%)			29	(40.8%)
3年以内	28	(29.8%)			28	(39.4%)
3年以上前	9	(9.6%)			9	(12.7%)
N.A.	23	(24.5%)			0	(0.0%)
・これまでに利用したことのあるHIV検査はどれか（複数回答）						
1東京都南新宿検査・相談室	20	(21.3%)			20	(28.2%)
2東京都多摩地域検査・相談室	3	(3.2%)			3	(4.2%)
3台東保健所	6	(6.4%)			6	(8.5%)
4台東保健所以外の保健所	28	(29.8%)			28	(39.4%)
5イベント検査	15	(16.0%)			15	(21.1%)
6病院・診療所	17	(18.1%)			17	(23.9%)
7HIV Check	6	(6.4%)			6	(8.5%)
8郵送検査	6	(6.4%)			6	(8.5%)
9その他	7	(7.4%)			7	(9.9%)

表 13. 受検のきっかけと受検の理由

	HIV検査は今回で何回目か					
	全体 n=94		初回 n=23		2回以上 n=71	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)
・今回検査を受検しようと思ったきっかけ（複数回答）						
定期的にHIV検査受けているから	29	(30.9%)	0	(0.0%)	29	(40.8%)
ただ単に知りたいから	25	(26.6%)	6	(26.1%)	19	(26.8%)
HIVに感染している可能性があるから	19	(20.2%)	5	(21.7%)	14	(19.7%)
梅毒に感染している可能性があるから	15	(16.0%)	1	(4.3%)	14	(19.7%)
HIVの情報に触れ自分のことも心配になったから	15	(16.0%)	4	(17.4%)	11	(15.5%)
友人知人にすすめられたから	12	(12.8%)	7	(30.4%)	5	(7.0%)
病院や診療所でHIV検査を受けにくいから	10	(10.6%)	4	(17.4%)	6	(8.5%)
体調に変化があり梅毒の不安を感じたから	8	(8.5%)	0	(0.0%)	8	(11.3%)
梅毒の情報に触れ自分のことも心配になったから	8	(8.5%)	2	(8.7%)	6	(8.5%)
体調に変化がありHIV感染の不安を感じたから	7	(7.4%)	2	(8.7%)	5	(7.0%)
保健所でHIV検査を受けにくいから	7	(7.4%)	3	(13.0%)	4	(5.6%)
新しいパートナーができたから	7	(7.4%)	3	(13.0%)	4	(5.6%)
その他	7	(7.4%)	3	(13.0%)	4	(5.6%)
パートナーと一緒に受けることにしたから	3	(3.2%)	0	(0.0%)	3	(4.2%)
HIVに感染しても様々な支援を受けられると知ったから	2	(2.1%)	1	(4.3%)	1	(1.4%)
パートナーのHIV感染がわかったから	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)
パートナーの梅毒感染がわかったから	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)
自分がHIV/梅毒以外の性感染症にかかったから	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)
・自分がHIVに感染している可能性はどの程度あると思うか						
かなりある	2	(2.1%)	1	(4.3%)	1	(1.4%)
ある程度ある	36	(38.3%)	9	(39.1%)	27	(38.0%)
ほとんどない	52	(55.3%)	12	(52.2%)	40	(56.3%)
まったくない	3	(3.2%)	1	(4.3%)	2	(2.8%)
既にhiv陽性を確認	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
N.A.	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)
・この検査会「快速あんしん検査 上野駅」を選んだ理由（複数回答）						
HIVの結果が即日わかるから	75	(79.8%)	16	(69.6%)	59	(83.1%)
梅毒の結果が即日わかるから	55	(58.5%)	8	(34.8%)	47	(66.2%)
予約をする必要がなかったから	49	(52.1%)	12	(52.2%)	37	(52.1%)
上野でやっていたから	40	(42.6%)	10	(43.5%)	30	(42.3%)
友人知人が勧めていたから	11	(11.7%)	5	(21.7%)	6	(8.5%)
aktaが広報をしている検査だから	6	(6.4%)	1	(4.3%)	5	(7.0%)
検査が信用できるから	6	(6.4%)	0	(0.0%)	6	(8.5%)
その他	5	(5.3%)	0	(0.0%)	5	(7.0%)

表 14. 性行動、性感染症既往、予防行動

	受検者全体		HIV検査は今回で何回目か			
	n=94		初回 n=23		2回以上 n=71	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)
・今回の感染の心当たりになる行為（複数回答）						
男性とのセックス	89	(94.7%)	22	(95.7%)	67	(94.4%)
女性とのセックス	5	(5.3%)	2	(8.7%)	3	(4.2%)
乱交	8	(8.5%)	2	(8.7%)	6	(8.5%)
ハッテン場でのセックス	30	(31.9%)	6	(26.1%)	24	(33.8%)
薬物を使用したセックス	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
注射針などの共用	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)
・今回の感染の心当たりになる行為があったからの時間						
30日未満	18	(19.1%)	10	(43.5%)	8	(11.3%)
30-90日	24	(25.5%)	4	(17.4%)	20	(28.2%)
90日-1年	46	(48.9%)	6	(26.1%)	40	(56.3%)
1年以上	1	(1.1%)	1	(4.3%)	0	(0.0%)
N.A.	5	(5.3%)	2	(8.7%)	3	(4.2%)
・次の感染症にかかったことがあるか（複数回答）						
ない	59	(62.8%)	19	(82.6%)	40	(56.3%)
梅毒	8	(8.5%)	1	(4.3%)	7	(9.9%)
クラミジア	13	(13.8%)	1	(4.3%)	12	(16.9%)
淋病	4	(4.3%)	0	(0.0%)	4	(5.6%)
尖圭コンジローマ	7	(7.4%)	0	(0.0%)	7	(9.9%)
性器ヘルペス	4	(4.3%)	0	(0.0%)	4	(5.6%)
A型肝炎	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)
B型肝炎	4	(4.3%)	0	(0.0%)	4	(5.6%)
C型肝炎	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他	3	(3.2%)	1	(4.3%)	2	(2.8%)
・男性とのアナルセックス経験はあるか						
ない	4	(4.3%)	0	(0.0%)	4	(5.6%)
過去6ヶ月にある	76	(80.9%)	19	(82.6%)	57	(80.3%)
過去1年以内にある	6	(6.4%)	3	(13.0%)	3	(4.2%)
1年以上前にある	5	(5.3%)	1	(4.3%)	4	(5.6%)
あるけれどもいつかは覚えていない	2	(2.1%)	0	(0.0%)	2	(2.8%)
N.A.	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)
・前回アナルセックス時のコンドーム使用						
使った	52	(55.3%)	13	(56.5%)	39	(54.9%)
使わなかった	35	(37.2%)	8	(34.8%)	27	(38.0%)
覚えていない	3	(3.2%)	2	(8.7%)	1	(1.4%)
N.A.	4	(4.3%)	0	(0.0%)	4	(5.6%)
・過去6ヶ月アナルセックス時のコンドーム使用						
毎回必ず使っていた	27	(28.7%)	6	(26.1%)	21	(29.6%)
使うことが多かった	29	(30.9%)	6	(26.1%)	23	(32.4%)
五分五分で使った	15	(16.0%)	4	(17.4%)	11	(15.5%)
使わないことが多かった	10	(10.6%)	3	(13.0%)	7	(9.9%)
全く使わなかった	5	(5.3%)	3	(13.0%)	2	(2.8%)
N.A.	8	(8.5%)	1	(4.3%)	7	(9.9%)
・予防のためのコンドーム使用意図						
はい	69	(73.4%)	18	(78.3%)	51	(71.8%)
いいえ	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)
相手に合わせる	17	(18.1%)	4	(17.4%)	13	(18.3%)
特に考えていなかった	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)
コンドーム以外の予防方法	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
N.A.	6	(6.4%)	1	(4.3%)	5	(7.0%)

表 15. HIVと梅毒に関する知識

	受検者全体		HIV検査は今回で何回目か			
	n=94		初回 n=23		2回以上 n=71	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)
・【知識】治療でウイルス量抑えられる						
正しい	82	(87.2%)	19	(82.6%)	63	(88.7%)
間違っている	5	(5.3%)	0	(0.0%)	5	(7.0%)
わからない	6	(6.4%)	4	(17.4%)	2	(2.8%)
N.A.	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)
・【知識】MSMには定期検査が推奨されている						
正しい	84	(89.4%)	21	(91.3%)	63	(88.7%)
間違っている	2	(2.1%)	0	(0.0%)	2	(2.8%)
わからない	7	(7.4%)	2	(8.7%)	5	(7.0%)
N.A.	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)
・【知識】保健所ではHIV検査を無料匿名で受けられる						
正しい	87	(92.6%)	18	(78.3%)	69	(97.2%)
間違っている	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
わからない	6	(6.4%)	5	(21.7%)	1	(1.4%)
N.A.	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)
・【知識】職場などの健診でHIVがわかる人もいる						
正しい	11	(11.7%)	4	(17.4%)	7	(9.9%)
間違っている	56	(59.6%)	13	(56.5%)	43	(60.6%)
わからない	25	(26.6%)	5	(21.7%)	20	(28.2%)
N.A.	2	(2.1%)	1	(4.3%)	1	(1.4%)
・【知識】風邪などの症状で受診した時に何も言われなければHIVに感染してない						
正しい	5	(5.3%)	2	(8.7%)	3	(4.2%)
間違っている	75	(79.8%)	15	(65.2%)	60	(84.5%)
わからない	12	(12.8%)	5	(21.7%)	7	(9.9%)
N.A.	2	(2.1%)	1	(4.3%)	1	(1.4%)
・【知識】梅毒の初期症状には痛みがある						
正しい	9	(9.6%)	2	(8.7%)	7	(9.9%)
間違っている	38	(40.4%)	3	(13.0%)	35	(49.3%)
わからない	43	(45.7%)	16	(69.6%)	27	(38.0%)
N.A.	4	(4.3%)	2	(8.7%)	2	(2.8%)

表 16. 予防キャンペーン等の認知

	受検者全体		HIV検査は今回で何回目か			
	n=94		初回	n=23	2回以上	n=71
	n	(%)	n	(%)	n	(%)
・ 性感染症等予防キャンペーンの認知						
ヤローページ	34	(36.2%)	6	(26.1%)	28	(39.4%)
Safer sexキャンペーン	17	(18.1%)	1	(4.3%)	16	(22.5%)
厚生労働省のポスター	6	(6.4%)	1	(4.3%)	5	(7.0%)
All Japanキャンペーン	12	(12.8%)	3	(13.0%)	9	(12.7%)
・ HIV予防のためのコミュニティセンターの認知（複数回答）						
ZEL（宮城県仙台市）	3	(3.2%)	1	(4.3%)	2	(2.8%)
akta（東京都新宿区）	48	(51.1%)	7	(30.4%)	41	(57.7%)
ship（神奈川県横浜市）	10	(10.6%)	1	(4.3%)	9	(12.7%)
rise（愛知県名古屋市）	5	(5.3%)	0	(0.0%)	5	(7.0%)
dista（大阪府大阪市）	10	(10.6%)	0	(0.0%)	10	(14.1%)
haco（福岡県福岡市）	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)
mabui（沖縄県那覇市）	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)
いずれも知らない	34	(36.2%)	15	(65.2%)	19	(26.8%)
・ HIVに関する情報や支援サイト、電話相談の認知（複数回答）						
HIV検査相談マップ	50	(53.2%)	7	(30.4%)	43	(60.6%)
HIVマップ	24	(25.5%)	1	(4.3%)	23	(32.4%)
東京都HIV検査情報web	14	(14.9%)	1	(4.3%)	13	(18.3%)
東京都南新宿検査・相談室	28	(29.8%)	1	(4.3%)	27	(38.0%)
東京都多摩地域検査・相談室	6	(6.4%)	0	(0.0%)	6	(8.5%)
電話相談	14	(14.9%)	2	(8.7%)	12	(16.9%)
・ ゲイバイセクシュアル男性向けの検査会は受けやすいと思うか						
そう思う	56	(59.6%)	16	(69.6%)	40	(56.3%)
どちらとも言えない	29	(30.9%)	5	(21.7%)	24	(33.8%)
そう思わない	8	(8.5%)	2	(8.7%)	6	(8.5%)
N.A.	1	(1.1%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)